

つたえる地域 つながる地域

東北フリーブレイズの高橋選手



八戸学院大への転入学を報告する高橋淳一選手(右)

高橋選手は、「将来的に講義で学んだことや研究を通じて、八戸に何か貢献できれば」と笑顔を見せた。

高橋選手は「将来的に講義で学んだことや研究を通じて、八戸に何か貢献できれば」と笑顔を見せた。

高橋選手は、王子イーグルスや日光アイスバックスなどを経て、昨シーズンにフリーブレイズに加入。これまでに世界選手権の日本代表や冬季アジア大会などの代表歴がある。2016年に作新学院大(宇都宮市)に社会人入学していたが、フリーブレイズへの加入を機に、八学大健康医療学部人間健康学科の3年生に転入学した。

現在は主に午後に講義を受け、午前はチーム練習に励む。「二足のわらじ」の生活。年の離れた学生と一緒に心理学や法学などの授業を受けている。同大の他、系列校の八学光星高にアイスホッケー部があることから、学生や生徒との交流も予定しているという。

4月から八戸学院大に社会人枠で転入したアジアリーグアイスホッケー・東北フリーブレイズの高橋淳一選手(40)は、栃木県日光市出身。8日、八戸市庁に小林真市長を訪ね、

入学を報告した。アイスホッケーを通じた「高大連携」の推進や、引退したアスリートのセカンドキャリア(第二の人生)に関する研究などに取り組む。(須田山裕太)

八学大に転入学 市長に報告 「八戸に貢献できれば」